

## ～職員からのひとこと～ 高島健康福祉事務所(高島保健所) 獣医師 中山 智之



毎年9月20日から26日は、動物愛護週間です。多くの方に命あるものである動物の愛護と適正な飼養についての理解と関心を深めていただくために、動物愛護管理法で定められています。「動物を飼う」ということは、その動物の命を預かること、小動物なら数年・犬や猫なら15年から20年・種類によってはもっと長く、動物がその命を終えるまで世話をすることです。動物の正しい飼い方や注意点などをよく調べて、最後まで愛情を注いで世話をしてください。

## 滋賀県における緊急事態措置

区域:県内全域 期間:8月27日～9月12日



あなたと大切な人の命を守るために！ ～ゼロ密を目指そう！～

### 不要不急の外出自粛の徹底

- ・県民の皆さまへのお願い: 外出は控えて(特に20時以降は徹底)
- ・県外の皆さまへのお願い: 滋賀県への不要不急の来県は控えて

### 基本的な感染対策を徹底

○手洗い、マスクの着用 ○家庭・職場での感染対策を徹底 ○少しでも症状がある場合、早めに受診を

催物(イベント等)の開催制限

施設への休業要請等

事業者の皆さまへのお願い: テレワーク・時差出勤等の徹底

公共交通機関への協力依頼

大学等へのお願い

県立中学校、高等学校、特別支援学校の対応

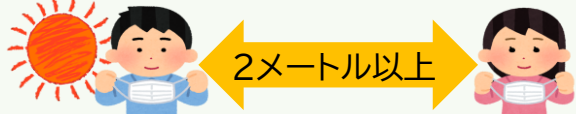
県立施設の対応等

## 「新しい生活様式」を健康に！ 熱中症予防×コロナ感染防止

**注意** マスクの着用により、熱中症のリスクは高まります！

・マスクを付けると皮膚からの熱が逃げにくくなったり、気づかないうちに脱水になるなど、体温調節がしづらくなります。気温・湿度が高い時は、エアコンの使用と換気・涼しい場所への移動など対策をとりましょう。

◎屋外で、人と2メートル以上(十分な距離)離れているときはマスクをはずしましょう。



感染対策は  
忘れずに！

◎のどが渇いてなくてもこまめに水分補給をしましょう。



滋賀県新型コロナウイルス感染症発生時の介護関連施設・事業所間の応援事業  
(職員派遣・代替サービス提供)

### 『愛称:びわこ感染制御支援チーム(B-ICAT)』登録のお願い



・介護関連施設・事業所で働く「職員」や「利用者」が新型コロナウイルス感染症に感染、または濃厚接触者となり、職員の出勤や利用者のサービス利用が困難となった場合に、他の事業所からの応援職員派遣や代替サービスを提供する相互応援システムです。

・滋賀県が実施主体、県内の事業所等で構成される団体等が受諾団体となり、実施しています。

登録がお済みでない施設・事業所は、登録をお願いします。

滋賀県 医療福祉推進課



\*詳細は、滋賀県のHPをご覧ください

## 手洗い場の設備の水栓の基準が変わりました！

食品衛生法の改正にあわせて施設基準が改正されました。  
 令和3年6月1日以降に許可を取得する際には新しい施設基準を満たす必要があります。  
 特に、調理場（製造所、作業場）内の手洗い設備の水栓の基準に「**洗浄後の手指の再汚染が防止できる構造であること**」が設けられました。具体的には、センサー式、足踏み式、レバー式など、手指を触れずに水を出したり止めたりできるもののことをいいます。  
 新しい施設基準に適合しない場合は、**今の営業許可の有効期間が満了するまでに改修をお願いします。**  
 ご不明な点があれば保健所に相談してください！

（相談窓口）高島保健所 地域健康福祉・衛生係 ☎0740-22-3552



ハンドル式



レバー式  
（肘で開閉できるもの）



センサー式

### 食中毒予防の3原則

食中毒菌を「**付けない、増やさない、やっつける**」

## 自殺予防週間 9月10日～16日

<自殺について誤解や偏見をなくし、正しい知識を普及啓発する期間>  
 自殺者数は減少傾向にありますが、思春期や青年期の死亡原因の第1位は「自殺」が継続しています。  
 自殺は誰もが関係する大きな健康問題です。様々な悩みを抱えて心理的に追い込まれた末の死といえます。  
 元気がでない、気分が沈む、不安やイライラがある、集中できない、眠れない等の状態が継続するときは、一人で解決しようせず、  
 周囲の人に相談してください。

### 相談窓口

滋賀いのちの電話（金～日曜日10:00～22:00） ☎077-553-7387  
 自殺予防電話相談（年末年始を除く9:00～21:00） ☎077-566-4326  
 高島保健所健康相談（平日8:30～17:15） ☎0740-22-2419

## 動物愛護週間 9月20日～26日

<動物の愛護と適正な飼育について関心と理解を深める期間>  
 犬、ねこの避妊・去勢手術について

【主なメリット】 オス→前立腺肥大症・前立腺腫瘍・肛門周囲腺腫・精巣腫瘍の予防  
 メス→子宮蓄膿症の予防・乳腺腫瘍の発生率の低下・発情期のストレスの軽減  
 【主なデメリット】 体が使うエネルギー量が減り、太りやすくなります。  
 適切な食事管理・運動の管理の必要性が高まります。  
 ★繁殖の予定がなければ、飼い犬・飼いねこの避妊・去勢手術をおすすめします。



## 9月は健康増進普及月間

～健康寿命の延伸～

1に運動 2に食事  
 しっかり禁煙  
 最後にクスリ



## 9月は食生活改善普及運動月間です！

～食事をおいしく、バランスよく～

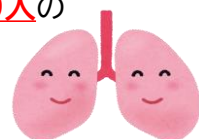
○毎日プラス1皿の野菜  
 ○おいしく減塩1日マイナス2g  
 ○毎日のくらしにwithミルク



## 9月24日～30日は結核予防週間

現在、結核は「薬を飲めば治る病気」になりました。

しかし、結核は、今でも**1日に40人**の新規患者が発生し、  
**6人**が命を落としている  
**日本の重大な感染症**です。



特に高齢者は、症状が出ていなくても  
 毎年、胸部X線検査を受けましょう。